

LUNAR-A 計画の経緯と今後の月惑星内部探査

Status of the LUNAR-A project and future explorations of the interior of the moon and planets

藤村 彰夫 [1]; 田中 智 [1]; 加藤 学 [2]; 早川 基 [3]; 白石 浩章 [4]

Akio Fujimura[1]; Satoshi Tanaka[1]; Manabu Kato[2]; Hajime Hayakawa[3]; Hiroaki Shiraishi[4]

[1] 宇宙研; [2] 宇宙研; [3] 宇宙研・宇宙機構; [4] 宇宙機構・科学本部

[1] ISAS; [2] ISAS/JAXA; [3] ISAS/JAXA; [4] ISAS/JAXA

ルナー A プロジェクトは 2007 年 2 月 7 日の宇宙開発委員会において中止と決定された。

本報告では、ルナー A プロジェクトの概要、開発経緯、現状に対する対応、要因、そして、成果について述べ、プロジェクトの開始から現時点までの経緯について報告する。プロジェクトの概要では、ミッションの目的と実現するための母船やペネトレータのシステム、それらを開発する実施体制、スケジュール、開発時の経緯について述べる。これには遅延理由や当初プロジェクトを進めた宇宙科学研究所（現宇宙科学研究本部）内外の複数の評価結果についての報告と現在の母船やペネトレータの状況の報告を含む。

上述の 2007 年 2 月の宇宙開発委員会による LUNAR-A プロジェクトの評価で述べられている今後の進め方では、(1) 母船については有効利用を図ることとされ、(2) 耐衝撃性がほぼ確認できているペネトレータについては、最終形態による貫入試験を実施してわが国独自のペネトレータ技術を完成させることと、今後の国内外の月・惑星探査機にペネトレータを搭載して打ち上げることを目指し、更なる改良のために研究を継続することとしている。